



News Release

報道関係各位

2019年4月5日

株式会社ウフル

国連 CEFACT フォーラムにて、 IoT 社会の国際標準技術の白書化に向けた提言を実施

株式会社ウフル（本社：東京都港区、代表取締役社長 CEO：園田 崇 以下、ウフル）の園田崇と CSO 田中正道が、2019年4月1日（月）から5日（金）にかけて実施されるスイス・ジュネーブで開催された第33回国連 CEFACT[®]において登壇し、2019年度中の白書作成に向けた提言を行いましたのでお知らせいたします。

IoTの普及はデータ量の爆発的な増加をもたらします。このデータはインターネット空間だけでなく、現実世界にも大きな影響を与えます。そこで、データの適切な記録・所有・利用に関するルールと、それを実現する技術を十分に検討することが社会的に求められています。もし、この議論を怠れば、「不適切なデータを学習したAIの暴走」「企業による不適切な個人情報の利用」「トレーサビリティの記録の改竄」といった、重大な社会問題を引き起こしかねません。

こうした中、欧州原子核研究機構（CERN）のフェデリコ・カルミナティ博士および米 NVIDIA のマーク・シュテンプフリ氏とIoT/ブロックチェーンに関する技術会議に、田中正道が登壇。IoTをすべての企業・個人が安全・安心に使える社会を実現する国際標準とすべき技術について、国連 CEFACT にて提言を行いました。

技術会議の詳細は下記 URL を参照ください。

<https://www.unece.org/uncefact/33rdcfforum-conf-latesttechnologytrends.html>

なお、弊社はIoT業界をリードする企業として、確かなデータを記録する信頼性の高いIoTデバイス（トラステッドデバイス）の開発や、データの所有・利用にかかる問題を解決するためにブロックチェーンを含む分散台帳技術の開発に取り組み、和歌山県での実装を目指しています。



今回の発表に際し、和歌山県商工観光労働部長 稲本英介様および白浜町長 井潤誠様より、お言葉をいただいております。

和歌山県商工観光労働部長 稲本英介様

「和歌山県への進出企業である株式会社ウフルが第 33 回国連 CEFACT に出席され、先進技術である IoT・ブロックチェーンに関し、技術会議で提言されたことは大変喜ばしく思います。

株式会社ウフル様が本県において、IoT・AI・ブロックチェーンといった先進技術を用い、地域に定着可能な事業開発に取り組まれることで、本県の地域振興が大いに図られるものと期待しております。」

白浜町長 井潤誠様

「白浜町では、世界に誇れるオンリーワンの観光地づくりに取り組んでいます。このビジョンを実現するために、先進テクノロジーを導入することは重要です。株式会社ウフルは、IoT・AI・ブロックチェーンといった先進技術を用い、地場に定着可能な事業開発に取り組んでいます。今回、株式会社ウフルが国連 CEFACT で発表された提言を、白浜町も一緒になって推進してまいります。」

*[□]国連 CEFACT は、国連欧州経済委員会の下にあり、貿易手続簡易化と電子ビジネスの促進、それらに関するグローバルなポリシーや技術仕様の制定を目的として設立された国連組織であり、従来の国際 EDI 標準 EDIFACT の保守、次世代 EDI のための各種技術仕様や EDI 共通辞書の整備などを推進しています。

※ 本リリースに記載されている会社名、製品名、サービス名は、当社または各社、各団体の商標もしくは登録商標です。

■株式会社ウフルについて (<https://uhuru.co.jp/>)

株式会社ウフルは「テクノロジーと自由な発想で未来を創る」を企業理念に掲げ、インターネットによる革新的な製品とサービスによって顧客と社会の価値向上に貢献することを目指しています。IoT 事業を核とし、エッジとクラウドをつなぐ IoT オーケストレーションサービス

「enebular」を用いて、IoT 領域で顧客のビジネスに変革をもたらし続けています。来る 5G の普及に向け、NB-IoT などの次世代通信技術にも取り組んでおります。コンサルタント、エンジニアやクリエイターといった多彩な人材からなるチームにより、IoT 事業を実現するために必要なプロフェッショナルサービスを、事業戦略・技術支援・コミュニケーション戦略などワンストップで提供し、お客様のビジネス創造に努めてまいります。